

収量が高く豆腐に利用できるダイズ新品種

そらみのり

- 東海～九州地域が栽培適地です。
- 裂莢（れっきょう）による収量ロスが少なく、葉焼病（はやけびょう）に対して**"抵抗性"**です。
- 子実のへその色が**"黄"**で、外観品質が優れます。
- 熊本県大津町の農業法人での、2年間の単収は**262 kg/10a**と良好であり、「フクユタカ」よりも**74%多収**でした。

※裂莢：成熟した莢がはじけて、種子が圃場にこぼれ落ちる現象です。 ※葉焼病：細菌によって引き起こされる病害です。

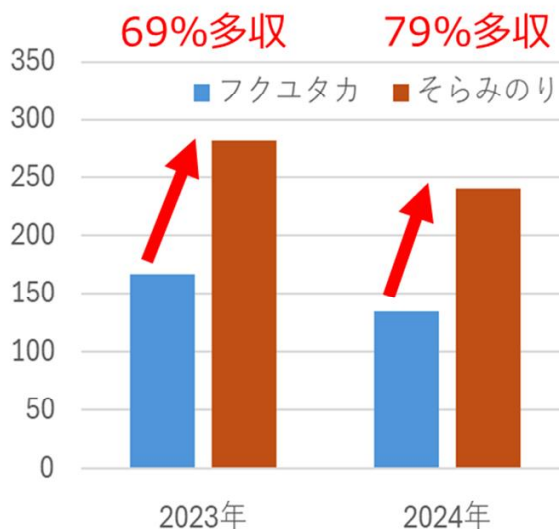


圃場の様子



フクユタカ そらみのり

成熟後の草本



熊本県大津町での「そらみのり」単収
(コンバイン収量、kg/10a)



フクユタカ そらみのり
子実の外観



「そらみのり」を原料にした
納豆が販売されています。

写真 マルキン食品株式会社、
株式会社丸美屋より提供

- 令和7年には、東海から九州にかけての地域で、**約800ha**の作付けが行われました。
- 令和8年以降には、さらなる**栽培拡大**が見込まれています。

